



仙台正教会 教会だより

2025年 3月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四一〇

TEL(022)225-2744

FAX(022)224-3080

<http://www.sendai-orthodox.jp>

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

ほのおのつゝまき
 焰の剣は既にエデムの門を守らず
 けだしこれしりぞ
 蓋、之を卻くる至榮なる十字架の
 木は至れり
 死の刺及び地獄の勝は亡びたり
 蓋、爾は、吾が救世主よ、
 現れて、地獄に在る者に呼べり、
 復、樂園に入れ (大斎第三主日の小讃詞)



十字架につけられたハリストスは「主よ、爾の国に来らん時、我を憶い給え」と願った右側の盗賊に対して「爾、今日、我と共に樂園にあらんと告げた。「樂園」と訳されたギリシヤ語は「パラダイス」であり「エデンの園」を意味する。つまりアダムとエワが罪を犯す前に住んでいたところである。アダムとエワは罪を犯したため、エデンの園から出され、そして、その入り口の門は、誰も入らないように「ヘルヴィムと回る炎の剣」でふさがれた(創世記第3章)。しかし、今、ハリストスの十字架は、このエデンの園の門を再び開いたのだ。

十字架叩拝の主日のコンダクではこのことが宣言されている。その内容は「炎の剣はもうエデンの園の門を守ってはいない。なぜならハリストスの十

字架が、それをしりぞけたからである。地獄の力は無くなった。ハリストスが死者に再び樂園に入りなさいと命じたからである」という意味。

十字架叩拝の主日に聖堂の中央に置かれている十字架は、花で飾られる。この花は、単なる装飾ではなく、植物が生い茂る美しいエデンの園を私達に思い出させるためのもの。その中の十字架は、エデンの園の中にある生命の木を表す。

大斎の真つ最中に、エデンの園の生命の木(十字架)に伏拝し接吻するのは、「主よ、爾の国に来らん時、我を憶い給え」という盗賊の祈りを自分のものとするためである。大斎とは、「主よ、復活祭の時が来たら、私に復活という救いの喜びを与えて下さい」と願いつつ生活することと云えよう。しかし、ハリストスは、その祈りに対して「爾、今日、我と共に樂園にあらん」と答えてくれる。つまり、大斎を守る人にとって、復活は今、ここで始まっている。(D)

婦人会定例会



仙台正教会の婦人会定例会の催しとして、今回、「写経」ならぬ「写祷」（祈禱文を写す）を行いました。写した祈禱文は「領聖前の祝文」で、領聖することへの大切な心構えが記されています。いつも聞き流してしまいがちな祈りの言葉を、自分の手で書き写す（写祷する）こ



とによって新たにその内容を味わうことになりす。

水口神父による解説によれば、冒頭の「我、信じ」という言葉は、信じることは他の誰かに代わってもらうことはできず自分にしかできないこと、信仰の決意を表す大事な一言だということです。写祷する前に、書き写すノートに自分で思い思いに飾りつけも行いました。

会に参加された方に感想を書いていただきました。

婦人会定例会に参加して

アンナ 伊藤光子

2月9日(日)は、税吏とフアリセイの主日の聖体礼儀でした。早いもので、また大斎の時期になりました。そして聖体礼儀・月例パニヒダのあと、婦人会の定例会がありました。御聖体を頂く前に唱えられる「領聖前に祈る祝文」は、一人一人が自分の口で唱えることが大事というお話を聞き、祝文のノート作りをしました。用意していただいたノートの表紙をハギレでブックカバーのようにした

り、レースやリボンをあしらっておしゃれに仕立てたりと、皆さん生き生きと取り組み、個性溢れる素敵な作品が出来上がりました。

祝文を写しきるまでには時間が不足したので、各々家に持ち帰り、残りを写して完成となりました。

大変寒い一日でしたが、祝文の内容を理解しつつ自分専用の祈禱書（ノート）を持つことが出来、男性の方も参加されて、楽しいひとときとなりました。



当日参加できなかった方にも専用ノートと祝文のコピーをセットにしてお配りします。ご希望の方は婦人会までお気軽にお声かけください。

東北ブロック宣教会議

2月20日(木)、一関正教会で東北ブロックの宣教会議が開催された。

主に来年度の教区行事の計画について昨年度の反省をしながら話し合われた。来年度の信徒懇親会は、11月に中新田教会担当を予定。聖歌研修会は仙台と盛岡に分けて10月と11月に開催する予定。テーマは「バランス」。誦経奉仕者研修会は9月に金成において開催予定。より実践を重視してた形で行う。教会学校研修会は昨年と同様に7月の盛岡の子供会に教区が協賛する。宣教キャラバンは



8月の盛教会の納涼会に参加する形をとる。なお、3月11日予定の涌谷教会訪問について詳細な内容確認も行われた。

白河正教会だより



2月1日(土)、2日(日)

に、水口神父が白河教会を巡回し、徹夜祈および聖体礼儀が行われた。聖体礼儀に引き続きいて大聖水式も行われた。暦としては遅れた形となったが、巡回のパターンを守るためにいつも白河では2月に聖水式を行っている。

祈禱後、昼食をとって恒例の勉強会が行われた。2月号の教会だよりに掲載された「大齋」を山登りに譬えた図表をもとに、「大齋」の形とその意味について丁寧な解説がなされた。また同会報に掲載の「断肉のスポタの祈禱文」についても学んだ。

中新田正教会だより

2月21日(金)、22日(土)に、水口神父が中新田教会を巡回し、断肉のスポタの奉神礼を行った。21日には勉強会も開かれ、断肉のスポタの意味、その特有の祈禱と歌について解説がなされた。断肉のスポタはすべての永眠者のために祈るべき日と定められており、トロバリやコンダクもパニヒダと同じものが歌われる。22日(土)の聖体礼儀に続いて月例パニヒダも行われた。

なお、来年度の信徒懇親会は中新田において開催する可能性があり、どのような対応をしたらいいか、少しずつ話し合いをしているところである。



▶ 2月9日(日)、代式祈禱の日、小型除雪車による雪かきと、ロウソクリサイクルの奉仕が行われた。

マナツシヤの祝文

長司祭 ダヴィド 水口優明

晩堂大課

大斎になると修道院だけでなく町の教会でも「晩堂大課」が行われます。「晩堂大課」は、夜遅い時間に相当する「時課」で、痛悔の心を与える祈禱文で満ちています。その中に「マナツシヤの祝文」があります。

マナツシヤとは

旧約時代にマナツシヤ（口語訳聖書では「マナセ」という王がいました。マナツシヤは悪を行った罪深い王でした。聖書には「マナツシヤは：憎むべき行いにならつて主の目の前に悪を行った」と書いてあります（列王紀下 21:2）。

その悪とは偶像礼拝です。異教の神々を拝み、その神ならぬ偶像をエルサレム神殿の中にまで持ち込みました。また人身犠牲、占い、魔術、口寄せなどをし、そのうえ罪なき者の血を流して、多くの過ちを犯しました。マナツシヤが悪を行ったことは、それまでのどんな罪人よ

り甚だしかつたと言われています。

マナツシヤの痛悔

その後、マナツシヤはアッシリヤ帝国の軍に攻められて捕虜となつてしまいました。青銅のかせに繋がれ、するどい鉤で拘束されて異国の地に連れて行かれました。



た。その時、マナツシヤは痛悔します。

マナツシヤの痛悔は、痛悔機密の中でも言及されており、「：爾の預言者ナファンを以て己の罪を痛悔せしダヴィドに赦を賜い、及びマナツシヤの痛悔の祈禱を納れ給いし主や、」と言つて、痛悔する信徒の罪を赦してくださいるよう祈ります。聖書には次のように書いてあります、

「彼は悩みにあうに及んで、その神、主に願ひ求め、その先祖の神の前に大いに身を低くして、神に祈つたので、神はその祈を受けいれ、その願ひを聞き、彼をエルサレムに連れ帰つて、再び国に臨ませられた。これによつて、マナツシヤは主こそ、まことに神にいますことを知つた。この後、彼は：主の宮から、異邦の神々および偶像を取り除き、：主の祭壇を築き直して、酬恩祭および感謝の犠牲を、その上にささげ：た。」（歴代誌下 33:1～17）

マナツシヤの祈り

この時にマナツシヤが神にささげた祈りが「マナツシヤの祝文」です。この祈りの言葉は、ヘブライ語聖書には掲載されておらず、ギリシヤ語訳聖書（七十人訳聖書）の中に入っています。正教会においては聖書の中の一部なのです（聖書協会共同訳の旧約聖書続編の中に「マナセの祈り」があります）。次ページに正教会訳全文を掲載します。じっくりと読み、繰り返し祈り、この心を自分の祈りといたしましょう。

主、全能者、
 吾が先祖アウラム、イサク、イアコフ、
 及び其の義なる裔の神よ、
 爾は天地と其の都ての飾とを作り、
 爾が誠の言にて海を縛り、淵を閉じ、
 畏るべくして采えたる爾の名を以て
 之を封印せり、
 万物は其の名を恐れ、爾が力の前に戦く、
 蓋、爾が光栄の莊嚴なる前には
 誰も立つ能わず、
 罪人に於ける爾の厳しき怒は堪え難し、
 然れども、爾が契約の憐は
 測り難く、窮め難し、
 蓋、爾は仁慈にして寛忍、鴻恩にして
 人の罪悪を憂うる至上の主なり。
 爾、主よ、爾が仁慈の多きに依りて、
 爾の前に罪を犯しし者に
 痛悔と赦罪とを契約し、
 爾が慈憐の多きに依りて、
 罪人の為に痛悔を定めて救を得しめ給えり
 故に、爾、主、義人の神よ、
 義にして爾の前に罪を犯さざりし
 アウラム、イサク、イアコフの為に
 痛悔を立てず、
 乃ち我、罪人の為に之を立て給えり、
 蓋、我、罪を犯ししこと
 海の砂の数よりも多し。

主よ、我が不法は数え難し、
 我が不法は数え難し、
 我は不義の多きに因りて、
 仰ぎて天の高きを見るに堪えず。
 我は多くの鐵の鎖にて屈められ、
 我が首を挙ぐる能わず、
 暫時も安んずる能わざるに至れり、
 蓋、我は爾を怒らせ、悪を爾の前に犯し、
 爾の旨に循わず、爾の命を守らず、
 穢れし事を行い、誘惑を多く為せり。
 今、我が心の膝を屈めて、
 爾に仁慈を賜うを祈る。
 主よ、我、罪を犯せり、我、罪を犯せり、
 我は我が不法を知る、
 然れども爾に祈りて求む、
 主よ、我を赦し給え、我を赦し給え、
 我を我が不法と共に亡す勿れ、
 永く我が悪を念う勿れ、
 我を地獄に定むる勿れ。
 蓋、神よ、爾は痛悔する者の神なり、
 爾の仁慈を傾けて我が上に顕し、
 爾の大なる憐に因りて、
 我、不当の者を救い給え、
 我、生ける中、爾を崇め讃めん、
 蓋、天の衆軍は爾を讃め頌う、
 光栄は爾に世々に帰す、アミン」

言葉の解説

全能者：原語 パントクラトル」」全てを
 掌握する者。天地創造の神
 節：原語 ヨスモス」」宇宙、秩序
 海を縛り」」創世記1:10、詩編95:5
 淵を閉じ」」詩編33:7
 罪人に於ける」」神の前では誰もが罪人
 契約の憐」」ヘブライ語では「セド」と言い、
 神の誠実、力、堅固、愛などを意味する
 爾は仁慈にして」」出エジプト34:6他
 痛悔：原語 マタノイア」」思いや考えを
 正しい向きへ転換する」
 海の砂」」まさに数えられないほど。↓創
 世記32:12では人の数として使用
 天の高きを見るに堪えず」」目を天に向け
 ようともしないで胸を打ちながら祈った税
 吏(ルカ18:13)、また 私は天に対してもあ
 なたに向かつても罪を犯しました」と言った
 放蕩息子と同じ(ルカ15:18)
 鐵の鎖」」青銅のかせ(歴代誌下33:11)
 誘惑を多くなせり」」自分だけでなく多く
 の民を罪に陥らせたマナッシャの罪
 心の膝」」体の膝を屈めつつ同時に心の膝
 も屈めることが痛悔の祈り
 罪を犯せり」」赦し給え」」共に二回繰り返
 しているところに切実さがある
 地獄に」」直訳すると「地の下に」
 爾は痛悔する者の神なり」」旧約・新約両
 聖書および正教会が伝えるのはこの真理。
 不当の者：原語は アナクシオン」」ふさわ
 しくない、資格がない
 我、生ける中」」詩編63:4、104:33
 天の衆軍」」天使のこと。↓ルカ2:12他

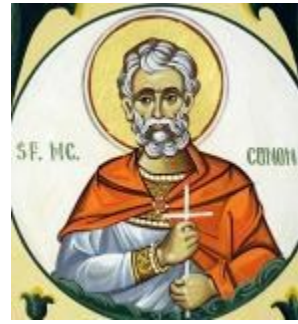
3月聖名日 モレーベンのご案内

3月16日(日)聖体礼儀後

3月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



聖致命女ユリアニヤ



聖致命者コノン

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
3/3	レオ(ロマのパパ)	太田 信、佐藤明彦
3/5	レオ(シケリヤのカタナの主教)	永沢正輝
3/14	エウドキヤ(聖致命女)	遠藤美紀子、熊谷真裕美、西海枝康子
3/17	ユリアニヤ(聖致命女)	渡邊孝子
3/18	コノン(イサウリヤの聖致命者)	遠藤正隆
3/23	アナスタシヤ(エギプトの克肖女)	山本理恵子
3/24	ソフロニイ(エルサレムの総主教)	中川克彦
3/30	アレキセイ(神の人ロマの克肖者)	昆 守、横山優生、山野辺学臣

婦人会よりお願い

3月9日(日)

赤ランバード洗浄作業

4月18日(日)

復活祭の卵染め

白布アイロンがけ

たくさんの方のお手伝いが必要です。男性の方もご協力お願いします。



※ご不明な点は遠慮なく
お問合せ下さい。

■ 申込先 仙台正教会(水口神父)
■ 4月13日(日) 午前8時30分

合同洗礼は特に正教徒の家庭で未だ洗礼を受けていない方のために行われるものです。家族が共に正教徒として同じ信仰を持つことはとても大切なことです。是非この機会に洗礼を受けましょう。

合同洗礼のご案内

執事会報告

令和7年2月4日(火)

14時～15時30分 3階会議室

一、報告事項

○新年会を5年ぶり飛天にて開催。28人参加。二時間、盛会であった。

○会計報告 一般/収益

定額献金 70%、参堂献金 86%、臨時献金 124%。駐車場タイマー工事支払い完了

二、協議事項

(1) 防火管理

・消火器全14本交換予定。また配線盤の蓄電池交換も予定。

・ホーチキ会社より人手不足により定期保守点検の契約更新ができないとの電話連絡あり。他の業者を探すしかないが、ホーチキに紹介を依頼しているところ。

(2) ライトアップの水銀灯について

電球のみLEDに交換することもできるが、電源ユニットも必要。本体から交換する場合は高額になる。一基のみランプ

交換した後、様子を見てもう一基を本体交換できないか業者に相談する。

(3) 大齋・復活祭にむけて

・奉仕予定Ⅱ黒布アイロン 2/23、赦罪の晩課 3/2、聖枝祭の枝準備 4/6、聖枝祭 4/13、白布アイロン・卵染め 4/18

・復活祭祈禱の時間について、種々検討した結果、コロナ禍の収束を受けて、今年は本来の形に戻して深夜の祈禱を行う予定とする。

その他

・教区会議と全国公会の予定

教区会議 6/21、22 於 札幌

全国公会 7/12、13 於 東京

復活祭のお知らせ

コロナ禍が収束したことを受けて5年ぶりに復活祭を深夜に行う予定です。

4月19日(土)深夜11:30～
20日(日)明け方3時頃まで

祈禱後、会館で会食・休憩



献金報告

(7.1.27～7.2.23)

○聖堂内献金 六万六千四七円

○感謝献金

匿名

木村良治

山中由美

○聖名日感謝献金

伊藤光子、千葉万亀、笹川久美

○パニヒダ献金

木村優美、佐藤厚子

大立目謙直、横山昭・渉

熊谷道子、高橋清太

大窪仁、佐々木一志

山中由美、岡多喜子、遊佐なみ子

水口敦子、飯塚順子

※敬称略(順不同)

消息

・永眠

二月九日

ペトル本多真敏 兄 (66歳)



永遠の記憶【仙台正教会】



3月行事・奉事予定



1日(土) 主日徹夜禱 第3調 (17時)
 2日(日) 乾酪の主日聖体礼儀 (10時)
 書札 ロマ 13:11・14:4
 福音 マトフェイ 6:14・21

【大齋初週祈禱】

3日(月) 時課 (9時)
 晩堂大課 テンドレイのカノン (17時)
 4日(火) 時課 (9時)

◇ 4日(火) 定例執事会(14時)

晩堂大課 テンドレイのカノン (17時)
 5日(水) 時課・先備聖体礼儀 (9時)
 晩堂大課 テンドレイのカノン (17時)
 6日(木) 時課 (9時)
 晩堂大課 テンドレイのカノン (17時)
 7日(金) 時課・先備聖体礼儀 (9時)
 フェオドルのスポタ早課 (17時)
 8日(土) フェオドルのスポタ聖体礼儀 (9時)
 8日(土) 徹夜禱はお休み 第4調
 9日(日) 正教勝利の主日
 書札 エウレイ 11:24・26、
 32:12・2

◆ 聖堂清掃奉仕の日／婦人会・方舟会

9日(日) 中新田正教会・代式祈禱 (10時)
 8・9日 水口神父白河出張
 8日(土) 18時 主日徹夜禱
 9日(日) 10時 主日聖体礼儀・
 春の総パニヒダ

※この週の大齋平日祈禱はお休みです。

11日(火) 東北ブロック宣教キャラバン

東日本大震災永眠者の記憶 於 涌谷
 14日(金) 死者のスポタ早課 (17時)
 15日(土) 死者のスポタ聖体礼儀 (9時)


15日(土) 主日徹夜禱 第5調 (17時)

聖グレゴリイ・パラマの主日
 書札 エウレイ 1:10・2:3
 福音 マルコ 2:1・12

※聖名日モレーベン／月例パニヒダ

18日(火) 晩堂大課 (17時)
 19日(水) 時課・先備聖体礼儀 (9時)
 22日(土) 主日徹夜禱 第6調 (17時)
 23日(日) 十字架叩拝の主日
 聖体礼儀 (10時)

3月の集会は以下のよう
 に予定いたします。



【聖堂清掃奉仕】→9日
 ※今月は、代式は9日(第二日曜)
 月例パニヒダは16日(第三日曜)
 【婦人会・方舟会】→9日
 【ミ二講話】→23日
 【聖歌隊練習日】→2日、
 9日【発声練習】、16日、23日
 【伝道会18時～】→12水、19水、
 26水 5水はお休み

△ミ二講話

29 1 30日 水口神父中新田出張
 29日(土) 16時 勉強会／17時 冬時間 晩禱
 30日(日) 階梯者イオアンの主日
 聖体礼儀 10時 第7調
 書札 エウレイ 6:13・20
 福音 マルコ 9:17・31

26 25日(火) 晩堂大課 (17時)
 時課・先備聖体礼儀 (9時)
 29 29日(土) 仙台教会の祈禱はありません
 日(日) 仙台教会の祈禱はありません

書札 エウレイ 4:14・5:6
 福音 マルコ 8:34・9:1

※ 会報に掲載されました写真でご希望のものがあればプリントいたしますのでご遠慮なくお申し出ください。